

くらしのみちゾーン・トランジットモール等の社会実験

【施策の概要】

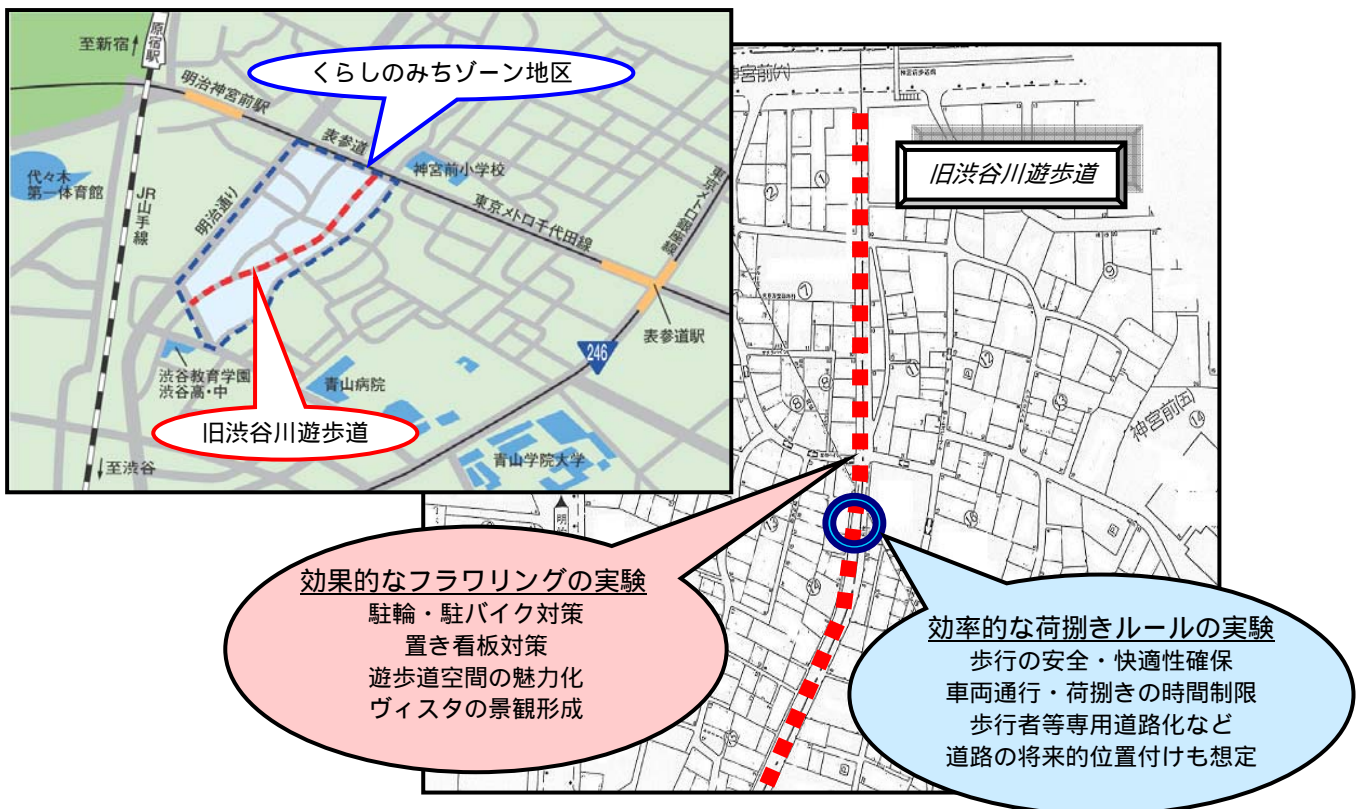
「くらしのみちゾーン」は、外周を幹線道路に囲まれている等のまとまりのある住区や中心市街地の街区などにおいて、警察と連携して一般車両の地区内への流入を制限して身近な道路を歩行者・自転車優先とし、併せて無電柱化や緑化等の環境整備を行って、交通安全の確保と生活環境の質の向上を図ろうとする取組みです。

「トランジットモール」は、中心市街地のメインストリート等で警察と連携して一般車両の利用を制限して、歩行者・自転車とバスや路面電車などの公共交通機関の利便性を高め、街の賑わいを創出しようとする取組みです。

【代表事例】

東京都渋谷区：旧渋谷川遊歩道の荷捌き及びフラワリングのためのソフトな仕組みづくり社会実験

旧渋谷川遊歩道において、効率的な荷捌きルールの浸透・運営体制づくりと、駐輪・置き看板対策や景観形成に効果的なフラワリングの演出・管理体制づくりを実施する。



旧渋谷川遊歩道（通称キャットストリート）



フラワリング設置イメージ

オープンカフェ等地域主体の道活用に関する社会実験

【施策の概要】

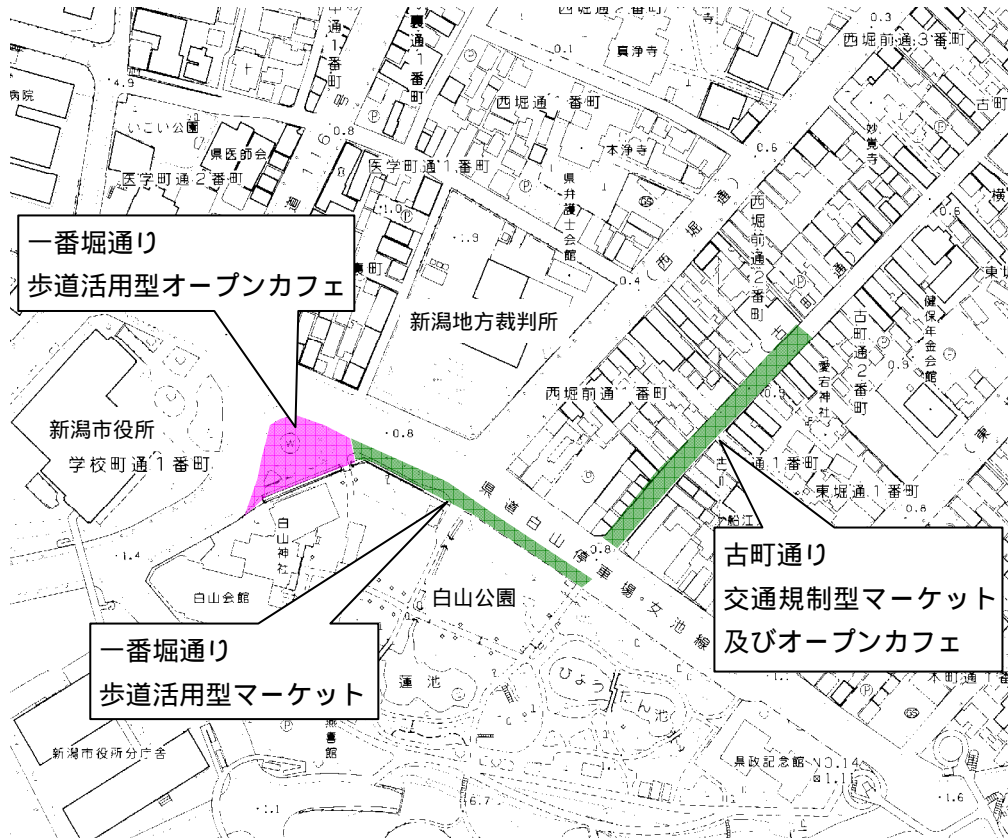
近年、地域の活性化、都市における賑わいの創出などの観点から、地方公共団体や商店街などが協力して、地域が一体となってイベントを開催するという取組みが各地で行われており、道路もこうしたイベントを通じた活用の場として注目されています。

「オープンカフェ等地域主体の道活用」は、地方公共団体やNPO等が、地域のニーズや実情に応じて、道路空間をより柔軟に活用して行う地域活動（オープンカフェなど）の円滑化を図る取組みです。

【代表事例】

新潟県新潟市：一番堀・ファーマーズマーケット社会実験

一番堀通り及び古町通りにおいて、花や農産物等を提供するファーマーズマーケットやオープンカフェを実施し、街の賑わい創出を図る。



現況写真（一番堀通り）



現況写真（古町通り）